



おめでとうございます 心温まるおもてなしに感動!

南淡LC45周年記念例会に出席

接待親善委員長 L.宮下 恒夫

4月7日に行われた姉妹クラブの南淡ライオンズクラブ(兵庫県南淡路市)結成45周年記念例会に出席してきました。

南淡LCの増井健一会長は「記念式典ではなく、記念例会とし、派手な演出は控えました」と話していましたが、南淡LCメンバーの心温まるおもてなしに感動をしました。祝宴では、当クラブの中村秀雄会長が「これからも友情を大切にしていきましょう」と祝辞を述べ、親交を深めました。

当クラブからはLL5名を含めて総勢28名で訪問しました。前日に長野をバスで出発し、一気に徳島市まで行きました。阿波踊りミュージアムでは、当クラブのメンバーもステージに上がって出演者と一緒に踊り、熱心に踊った(?)L.松木信弘とL.高島陽子に特別賞が贈られ、お客様から大きな拍手が送されました。

徳島市内に宿泊の翌日は、ゴルフ組(鳴門カントリークラブ)と観光組に分かれました。ゴルフ組は早朝元気よく出発し、南淡



LCメンバーとプレーを楽しみました。観光組はロープウェイで徳島市内を一望できる眉山まで行き、その後、鳴門海峡で観光船に乗って満潮時の渦潮を見てきました。午後は、大塚国際美術館で名画を鑑賞ましたが、時間がいくらあっても足りないぐらいの沢山の展示物に驚きました。

来年は、いよいよ当クラブの結成40周年です。派手さはなくとも、お客様に喜んでもらえる式典にできれば、と思いました。

L.宮下 恒夫は寄稿後の6月18日、急逝されました。
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。



334-E地区第58回年次大会

長野市のビッグハットで県下から大勢のライオンが参加し、盛大に開催されました。当クラブがいたいたい年次表彰は、アクティビティ労力賞(金)、PR賞、YCE賞、レオ・青少年育成推進賞、障害者福祉賞、震災支援賞を受賞。個人では、L.松木信弘が会員増強個人賞(2名入会)を受賞されました。



334複合地区第58回年次大会

ワインクン・タム国際会長をお迎えし、約3,000人の参加を得てビッグハットにて盛大に開催されました。大会前日は国際会長歓迎会、当日の27日は朝から植樹会、そして大会から晩餐会まで常にフレンドリーな「タムスマイル」で各ライオンを魅了していました。

仲間、自分を信じ奉仕をしていく…。国際会長のメッセージを咀嚼し、新たな気持ちで奉仕活動に取り組む決意ができた素晴らしい大会となりました。



一年を振り返って

長野白樺ライオンズクラブ会長退任の挨拶

L.中村 秀雄

緊張しながら臨んだ昨年7月のクラブ定例理事会から早1年、「学ぼうライオニズム・育てよう奉仕の心」をスローガンに、今一度クラブ結成時の原点に戻り、ライオニズムを学び考え、会員が一体となって奉仕活動をすることを目標として、委員会主導のクラブ運営に務めてきました。

往々にして、クラブ運営は時の執行部だけと言われることが多い中、我がクラブは委員会を中心に事業の計画運営がなされ、執行部との連携を保ちながら事業を行ってきた結果、第58回地区年次大会において、アクティビティ労力賞(金)、PR賞、YCE賞、レオ・青少年育成推進賞、障害者福祉賞、震災支援賞と6つの年次表彰を受けることができました。執行部一同、何とか無事役目を務め終えたことに安堵しているところでございますが、ここで、今期の活動を思い出し一年を振り返ってみたいと思います。



7月第一例会（7月13日）



球技大会表彰式（7月28日）

執行部誕生から間もなくの7月28日、当クラブが長年にわたり支援している**長野県児童福祉施設連盟東北信支部の児童球技大会**が須坂北部体育館とグランドにおいて開催され、応援と賞品授与のために多くの会員が参加いたしました。

この大会からライオンズクラブのイメージアップを図るため、外部での行事にあたっては、ライオンズクラブの象徴であるライオン帽を着け参加することにし、チャリティーゴルフ大会でも役員全員がアクトジャンバー・ライオン帽姿で参加者をお迎えいたしました。



森の間伐作業



アゲハチョウの森づくり植樹

児童福祉施設連盟東北信支部の児童とは、9月には第13回となる**エコロジーハイキング大会**を地附山公園で実施しました。森の間伐作業とアゲハチョウの森づくりのための植樹に汗を流し、その後、当クラブ名物の豚汁による昼食、児童たちと一緒に地附山頂上までのトレッキングを行い、また、10月には上田市民の森グランドで



運動会（10月8日）開かれた第43回運動

会で児童たちと再会し、パン食い競争、マラソン、お楽しみリレーで交流を深め、秋晴れの一日を楽しみました。当クラブは、児童福祉施設の児童、生徒やボーイスカウト長野第15団の団員の皆さんとふれあうアクティビティを継続して行うことにより、次代を担う青少年の健全育成に力を注いでいることを実感する良



ナウマンロードの集い



PR委員長 L.竹内 良美

ボーイスカウト長野第15団が主催して、毎年行われているナウマンロード60キロハイクが5月12日に行われました。当日は冷たい小雨の降るあいにくの天候でしたが、スカウト達は、100キロ、60キロ、30キロ、20キロ、の4コースを、それぞれ年齢、体力別に分かれて歩きました。

我々「長野白樺ライオンズ・クラブメンバー」は、LLを含めて11名が参加、雨と戦いながら昼食予定地の台ヶ窪まで何とかたどり着きましたが、飯綱町の横手付近で雨脚が強まり、年少の「カブ」「ビーバー」スカウト達は体力が限界に近いとの判断で、予定を変更し飯綱高原にある、林團長の山荘に集合、我々も同行させていただき、昼食、終了式を行いました、中村会長から参加者全員に完歩賞バッジが手渡されました。

辰年リレースピーチ

2/8

出席委員会担当で、「辰年生まれ会員リレースピーチ」が行われました。

当クラブには辰年生まれの会員は現在6名です。この日の出席は、L.林謙一郎(1928年・昭3年3月11日生・チャーターメンバー)、L.飯島昭三(1928年・昭3年3月30日生・チャーターメンバー)、L.高木春光(1952年・昭27年5月12日生・1997年7月入会)の3名。生い立ちや、クラブの思い出、これから夢などをユーモアを交え、スピーチしました。



辰年生まれ会員リレースピーチ

L.武内 浩 1952年(昭27)11月27日生 1987年3月入会
L.中島 洋 1952年(昭27)12月16日生 2010年7月入会
L.木佐貫祐治 1964年(昭39)5月22日生 2011年4月入会

い機会であったと思います。

7月には、第14回となる恒例の**チャリティー食事会**を長野アーツホールで開催し、福祉施設から117名の方々が参加



チャリティー食事会（7月30日）

され一流の調理師のみなさんが作る料理を堪能していただきました。その模様は、8月21日の**24時間テレビ**においてチャリティー



募金の贈呈とともにテレビ信州で放映され、多くの反響を得、参加者からも「おいしい食事をありがとうございました」と多くの札状が届けられました。

重点活動として掲げた例会出席率の向上も、5月末現在年平均88.6%と大変高い率を示しております。そ



日本・フィリピン医療奉仕活動（2月9～12日）



参加者によるスライドでの活動報告（2月22日）

の要因はPR委員会を中心に、プロジェクトを使って9月第二例会**チャーターナイト例会**での30年の歩みを振り返る会員リースピーチ、第900回の記念例会には半期を振り返っての事業報告、**日本・フィリピンの合同医療奉仕活動の報告、震災の被災地での支援活動報告**など新たな報告形



復興支援参加を例会で報告（2月8日）

式を取り入れ、例会に変化を持たせたこと、そして保健福祉委員会主導で当クラブのドクター4名の協力により行った**健康管理例会**、また、家族との親睦を図る目的の**家族合同納涼例会、クリスマス例会**など趣向をこらした例会の運営が出席率の向上に役立ったのではないかと思います。



健康管理例会（10月26日）



家族合同納涼例会（7月27日）

会長スローガンに基づき「ライオニズムを学ぼう」と**ライオンズひとつくちメモ**を毎回例会資料に掲載いたしました。まだまだライオンズクラブについて勉強しなければならないと痛感しておりますが、会員の皆様もライオンとしての知識と誇りを胸に、今後も奉仕活動に精進していただければ幸いでございます。

L.堀込圭二、L.渡辺淑子、L.宮下恒夫のご逝去という大変悲しい出来事もありましたが、4名の新しい会員を迎えることができた一年でもありました。

紙面の都合で全ての行事について取り上げることはできませんでしたが、会員の皆様の絶大なご協力のもと、与えられた任務は何とか果たせたのではないかと思っております。役員の方々や先輩諸氏のご指導と会員の皆様のご叱責や励ましにより、いろいろなことを経験し、勉強することができた一年でした。今後は一員としてクラブの活動に積極的に参加していく所存です。

皆様のご協力に心から感謝と御礼を申し上げ、退任の挨拶いたします。

一年間本当にありがとうございました。



なかむらサンタさん（12月21日）

中村会長、会長代行を含め約2年間お疲れ様でした。心から感謝します。会員一同

献血アクティビティ 薬物乱用防止運動



- 日時：3月18日（日）
- 場所：ながの東急百貨店前
- 計：15,200ml



- 日時：6月10日（日）
- 場所：ドリームモータースクール須坂
- 計：18,600ml

164名の仲間とともに奉仕活動！

長年にわたる334-E地区の継続事業である、第37回日本・フィリピン合同医療奉仕活動が2月9日から12日の日程で実施され、当クラブからも5名（L.池田 芳良・L.石田 和男・L.小林 克己・L.高瀬 直樹・L.高橋 ひろ子）とノンライオン3名が参加しました。



春のゴミゼロ運動

5月13日（日）、早朝6時に長野セントラルスクエアに集合し、中央通り周辺や権堂アーケードなどを分担して清掃しました。



クラブゴルフコンペ開催



- 日時：5月13日（日）
- 場所：長野国際カントリークラブ
- 参加者数：32名
- 優勝：L.小林 克己 ● 準優勝：L.山崎 昭宏 L.玉澤 章
- B G : L.酒井 千明

スカイツリーを見ながら…

LLの会委員長 L.町田 敬

平成24年4月17日にLLの会で春の旅行に行ってまいりました。今回は東京湾のサンセットクルーズをメインに3列シートの豪華バスで、LL 15名、L 5名、合計20名での参加となりました。

お昼前に浅草ビューホテルに到着し、完成されたスカイツリーを見ながらの昼食。浅草の浅草寺にて観光や買い物などを楽しみ、浅草から隅田川東京クルーズの船に乗船、日の出桟橋まで下りました。浅草から日の出桟橋まで、船からの景観案内のアナウンスを聞きながら、13もの橋を潜り、改めて違う角度から東京の姿を見ることができました。



日の出桟橋からは、豪華クルーズ「シンフォニー」に乗り換えての東京湾一周に出発。途中、夕立ちとなりましたが、客船の中では、イタリアンコースを食べながら、ときわ優雅な時間を過ごすことができ、充実した春の旅行となりました。

ゲストスピーチ

2/22 企業組合 C&C ハーモニックス
代表理事 小山 菜穂子様



心のケア「日常に“癒しの時”を持っていますか…？」
笑顔の大切さとその効用の説明の後「顔の筋肉をほぐす笑顔の体操」と丹田呼吸法の指導を受け、その大切さを実感したひと時でした。

3/14 日本ボーイスカウト長野県連盟 長野第15団
団副委員長 黒木 健一様



ボーイスカウト運動は1907年、イギリスから始まり、世界中に受け継がれ、現在では世界161ヵ国3,000万人以上ものスカウトが参加しているという。また活動の内容や子ども達の様子などをスピーチしていただきました。

4/11 L.堀込 圭二追悼例会



徳永住職の読経

当クラブ会長を歴任されたL.堀込圭二が病気のため、2月21日享年66歳という若さで逝去されました。氏は1992年に入会し、長年クラブ発展のために尽力されました。この日はご子息ご令嬢のご遺族2名も同席し、L.徳永隆宣住職の読経の中、心からのご冥福をお祈りしました。



中村会長の弔辞



ご長男哲也氏の謝辞

退任あいさつ ご協力ありがとうございました

幹事 L.中澤 和明

中村会長スローガン『学ぼうライオニズム・育てよう奉仕の心』のもと幹事を仰せつかり、一年が経ちました。

就任当初は、幹事という重責を果せるだろうかという不安はありました。しかし、「引き受けた限りはベストを尽くす」「同じやるなら楽しんでやる」を心に決めてスタートしたつもりでしたが、力不足が故にメンバー皆様にはご迷惑をおかけしました。にもかかわらず、温かい激励と適切な指導をいただきまして任期を全うすることができました。心よりお礼申し上げます。

20年ぶりの地区年次大会と複合地区大会の長野開催、長野LC結成50周年記念式典、南淡LC結成45周年記念例会、委員会主導の工夫された楽しい例会、みんなで協力し合ったアクティビティ等々大変多くの実績と思い出を残す事ができ、私自身とても有意義な一年でありましたと共に、より一層、長野白樺ライオンズクラブの素晴らしいを感じた一年がありました。

メンバーの皆様、事務局の伊藤さん、本当にありがとうございました。

会計 L.高島 陽子

私は、中村会長、中澤幹事との三役としてはおぼつかない、足を引っ張りまくりのような未熟な会計だったと思います。

例会と理事会では先輩方々と真正面から向かい合う場所に座り、席を並べる赤羽LT、高瀬TTにも頼りっぱなしの記憶ばかりです。

ようやく一年を迎えてバトンタッチの時が参りました。多くの方のご指導とお力添えで何とかやってこれました。

会計とは、予算、決算、監査という段階で数字を見るのみならず、様々な事業と絡み合って執行まで見届ける責任がある大役ではないかと考えるようになりました。

この間、対外的な活動にも参加させて頂く中、長野白樺ライオンズクラブが大規模かつ歴史と伝統を誇るクラブであることを感じさせられる場面は少なくありませんでした。

クラブ内において、会員の皆様のご理解とご協力なくしては務められなかつたと、いまさらながら振り返り、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。